

講演会型＋体験活動参加型＋在宅取組型（中学校）

学校名等	揖斐川町立谷汲中学校
実施日時	I 6月15日 II 10月28日（土） III 冬休み
会場	I・II 谷汲中学校 III 各家庭
参加人数	I 50人 II 49人 III 51人
学習課題（分野）	講師の生き方を通して学ぶ。 思いやりの心を高め、家族のつながりを深める。
運営者の願い	親子で講演会に参加し、講師の生き方から、家族の大切さを再確認する。 体験や訓練、家庭での取組を通して、家族のつながりを深める。



本年度テーマ
「思いやり」を育む家庭教育

- テーマに沿って、次の工夫を行った。
- ・講演会や体験会の実施にあたり、講師との打ち合わせを大切にしました。
- ・会の終わりには、感想交流会を実施し、思いを広めたり価値付けたりした。
- ・家庭において、親子で感想を書くプリントを準備した。また、そのプリントを講師の方に持参した。

学習の内容

<取組の概要>

- I 「はじまりは家族から」と題する後藤政幸氏の講演、及び、「だいじょうぶ だいじょうぶ みんなだいすきだから」の朗読から、家庭や仲間の大切さを再確認する。
- II 起震車・煙体験や消火器訓練を親子で行うことを通して、防災・減災のために家庭で出来ることを親子で話し合う機会とする。
- III 揖斐川町青少年育成町民会議「家庭部会」より発行された「話そう！語ろう！わが家の約束」取組カードの活用により、家族のつながりを深める。

<取組の具体>

- I ①講演及び朗読会
講師 後藤政幸氏 演題 はじまりは家族から
②感想交流会
③家庭において、親子で感想を書く
- II ①起震車体験・煙体験・消火器訓練
②感想交流会
③家庭において、親子で感想を書く
- III ①揖斐川町青少年育成町民会議「家庭部会」からの取組カードを配付
②冬休みに各家庭で実践



講演会

<取組の感想>

- I ・“運命は自分が望めば変えられる”という言葉がとても心に響きました。話を聞いて、自分は後悔することが多く、もっと前向きに楽しく過ごしていかななくてはと思い、子ども達にも毎日楽しく幸せを感じて過ごしてもらえるよう、私の方からもっともっと愛を伝えていかななくてはいいなと思いました。
- II ・家では、あまり災害が起きたときのための備えがしっかりできていません。家族で話をしたり、備えたりしていきたいです。
・起震車の体験をしてみて、強い揺れが本当に怖かったです。家の中で危険なところがないか、もう一度家族で見直すことが必要だと分かりました。
- III 家族から子どもへのメッセージ
・「食べた食器を運ぶ」これだけでもお母さんはとっても助かります。
・守れなかった日が、なかったですね。「継続は力なり」ですね。



起震車体験



揖斐川町青少年育成町民会議「家庭部会」との連携

親子共に、講演会や体験会などで高めた力を「話そう！語ろう！わが家の約束」取組カードを通して発揮し、思いやりの心を高め、家族のつながりを深める。

